

「伸楽」とは…

押しつけられたり、しなければならぬからいやいや学んだりするのではなく、一人ひとりが学ぶ意味を見つけ出し、喜びの中で輝き成長する教育、それを目指す考え方です。伸楽ひふみ学園はこの伸楽の考え方に基づいた、小中学生のひふみ塾・中等部・高校（通信制課程）の学習支援センター・大学（通信制課程）のサテライトカレッジ・就労支援のためのNPO団体を併せ持つ総合学園です。

星槎大学サテライトカレッジ金沢校、今秋スタート



伸楽ひふみ学園は、高校卒業後の進路の一環として学園の中に星槎大学サテライトカレッジ金沢校を持っています。この秋、その第一期生の秋の入学式が行われました。第一期生として入学した学生は2名。ひとりには高校部の一期生として伸楽ひふみ学園に入学し、先月まで高校部の生徒として通ってきてくれていた女の子。もう一人は同じ系列の高校をこの秋卒業し、晴れて大学生になった男の子。二人とも、これからまた高校とは違った新しい発見があることでしょう。大きく成長してくれることを楽しみにしながら4年間一緒に成長していきたいと思えます。

卒業式…新しい出発。そして出会い。

3年前の秋に入学した生徒の卒業式が、9月14日に行われました。この日のために集まった在校生は10人。

佐藤センター長の祝辞から始まり、来賓祝辞として理事長の祝辞を代読していただきました募集事務局長、七尾学習支援センター長からお祝いのお言葉と続きました。

その後卒業証書の授与と記念品の贈呈が行われ、みんなから祝福の拍手が贈られました。それから「贈る言葉」として在校生代表の新保光起君が送辞を行い、各職員からのお祝いの言葉が卒業生に向けて贈られました。

最後にみんなで「蛍の光」を斉唱して、平成24年度秋の卒業証書授与式は終了しました。

式典終了後はみんなでお茶とお菓子を囲んで謝恩会。楽しい時間が流れます。

3年間ですごく成長した今回の卒業生。これからの活躍がとても楽しみです。本当におめでとうございます。

卒業する生徒がいれば、新しい出会いもあります。9月から新しい仲間が増えました。第3水曜日に行なわれるクリスタルボウル演奏会の日から西金沢学習支援センターに加わった1年生の女の子。教室に慣れるために現在は週1日、午前中のみ登校してきています。

そして、初めての環境でも積極的に授業に取り組んでくれています。クリスタルボウル演奏会や読み聞かせ会では耳を傾け、ハンドメイド講座では器用に石けんデコパージュや表札作りで才能を発揮していました。

また、今秋より始まった大学のサテライトカレッジの入学式も行われ、2名の学生が加わってさらに賑やかになりました。

少しずつ環境に慣れていって、友達も増えて学校生活が楽しめるように、そして将来どうなりたいかというモチベーションが高まるような教室づくりを新入生の生徒を含め教室に関わるみんなで作っていきます。



読み聞かせ体験会

9月の下旬に、高木文代さんをお招きして高校生のための読み聞かせ会を開きました。

読んで下さったのは、斉藤一人さんの本。成功法則の神髄についてでした。

30分の読み聞かせの後の高木さんから

「一番は何でも行動する事」「今が面白くないと思ってるなら変わらなきゃもったいない。」「この先も面白くないまま過ごしていったらもったいない。」「やったら変わる。行動したらわかる。」「本当に自分がしたいことを親に言ってみよう」「親は、子供が幸せになってくれることが一番の幸せ」「みんな好きなように思ったように生きればいいんだよ」

という、ポジティブなメッセージのシャワーを高校生たちに投げかけ続けてくださいました。最後に、ご自身が経験した変化を、日記を通して伝えていただきました。

今、生徒たちが今回の話の全てを吸収できたかはわかりません。だけど、きっと大人になった時にいつか思い出して実感できる日が来るんじゃないかなあと思っています。



スクーリングから見える“計画性”

9月は生徒たちにとって一番頑張り時。スクーリングが実施されました。普段の学習の成果を試す時ですからスタッフ一同緊張しています。2・3年生はすでに経験済みなので自分たちのペースで課題を修了していきますが、1年生にとっては初めての経験。

もちろん、スタッフも一緒になって課題がクリアできるように応援しています。

丸一日課題作成だけではきっと頭がパンクしてしまうんじゃないかな～と試してみていると、1年生は自分たちで時間を決めて課題作成と息抜きを織り交ぜながらちゃんと緩急をつけて取り組んでいました。

「自分たちで予定を決めて行動する」という社会に出てから最も大切で難しいことに、1年生も2年生も3年生も彼ら自身で考えちゃんと行動出来る姿が頼もしく思えます。



マジシャン・ルパン来校！



県内各地で素敵なマジックショーを披露してくれているマジシャン・ルパンさん。10月下旬、伸楽ひふみ学園のイベントとして企画されたマジックショーのため、教室に来校してくださいました。

どんなことが起こるんだろうと興味を持って見ている生徒もいれば、最初はあまり関心を示さず席に着く生徒もいました。

何も挟まっていないサンドイッチパンの間に手を触れずいつの間にかジャムが塗られていたり、選んだトランプと同じカードのイラストがスケッチブックから現れたり。目の前で次から次へと繰り出される不思議な現象に、生徒だけでなく大人も次第に引き込まれていきました。目の前で見ているのに、全然タネがわからない不思議な体験。

マジックを披露して下さった後、生徒たちにマジックを何種類か教えて下さったルパンさん。普段はあまり積極的にイベントに関わらない生徒も目を輝かせながらマジックを覚えていきました。



大学のサテライトカレッジもスタート

SEISA 星槎大学



今秋、高校を卒業した後の進路として新たに星槎大学のサテライトカレッジがここ野々市で金沢校としてスタートしました。これまで「高校卒業のその先」を目指して指導してきましたが、同じ場所で大学をはじめられることでより長期的スパンで「社会に出てからのその先」を視野に生徒一人ひとりにきめ細やかな指導が出来ることとなりました。サテライトカレッジ金沢校では、「教育」「福祉」「環境」「国際社会」の分野を「共生」を軸に学ぶことが出来ます。教員免許や教育カウンセラー、社会福祉国家試験受験資格などの取得が可能です。

10月9日に第1期生となる2名の学生が入学し、新たなスタートを切りました。

自分で選択し、学び、西金沢学習支援センターに通う高校生や特別講師として来校される社会人の方々や世代を超えて交流し、広い視野を身につけて将来の夢を叶えていってくださることを期待しています。

私の想い ～生徒を導くこと～

第一期（2009年9月入学生）に日本航空高校普通科に入った生徒が、この9月に無事卒業しました。

また、2010年4月入学生の卒業が来年3月にまわっています。

この3年間の彼らの成長を見ると感無量です。

はじめは挨拶や返事も出来なかった生徒が、今や笑顔で挨拶をし、返事をするのです。

また、そんな一人の卒業生は、卒業後はうちの大学に入り、カウンセラーの資格を取り、うちで働きたいというのです。

また、入学当初、無気力だった生徒が、うちで鍛えたソーシャルスキルが功を奏して、難関といわれる就職試験に見事合格しました。その他の生徒も皆大きく成長しています。

私が思うに、彼らが劇的に成長した理由は、彼らの居場所づくりや強制しないで自分たちでルールを決めていくなどいろいろな要因があると思いますが、やはり「愛」の力が一番だと感じます。

愛といってもやさしいばかりが愛ではなく、厳しさの中にも愛はあります。

彼らの感情は受け入れて、行為には厳しく接しています。

例えば、いじめ問題があった時に、加害者の生徒には、「お前のイジメた気持ちは、よくわかるが、もし自分がされたらどんな気持ちになるか考えてごらん」と、そのイジメた行為に対しては厳しく接します。

被害者の生徒の側にも、「イジメられてつらかったよね。その気持ちはよくわかるよ。しかし、君にイジメられる行為はなかったかい？先生と一緒に考えてみようよ。あったら改善して強くなれるからさ。」と。

航空科について

高等学校普通科をはじめて4年目に入りました。

そして来年度からは、高等学校の航空科をはじめます。高等学校の航空科を始める理由としましては、生徒本人や親御さんの就職に対する思いが強く、単に普通科ではなく、就職に強い科を求める声近年多くなってきたこともあり、準備を始めました。

一般的に通信制課程では、工業系の科は難しいと言われていますが、当学園は全日制の航空科との繋がりも持っていますので、一年に十日間くらい全日制的日本航空高等学校のカリキュラムで実地練習をすればよいという利点があるため、実現することが出来ました。

航空科に関しては、将来航空系業界または工業系企業で働きたいという明確な目的を持った生徒を対象としています。

通信制と言いましても、普通科と同様、航空科も授業は毎日、月曜～金曜まであります。授業形態も個別指導ですので、学力よりもやる気（面接）を重視しています。

また、卒業までの期間も普通科同様3年間です。これも普通科同様ですが、留年も基本的にありません。どんなに学力がなくても個別指導ですので自分からリタイア（退学）しない限り3年間で卒業させます。

気になる学費の方も、普通科同様、県下私立通信制高等学校の中では、約半額、全日制的私立高等学校よりも少し高いくらいになっています。

受験期間は、第一期に関しては、全日制的私立高等学校と同じ時期ですが、第二期に関しては、大きくずらしていますので、最後の最後まで選択できるようになっております。

生徒に対して生徒の感情を優しく受け入れて、行為に対しては愛（この子を何とか成長させたい、という思い）を持って厳しく接すると、生徒もそれを感じ取り、変な恨みなどのシコリが残りません。

こんなような環境で友が出来て、周り（教員）のサポートで「夢、目標」が出来ていきます。私たち教師も新しい、今までに例のない学校づくりをしているので、今もこれからも改善改善でやっていきます。

これからもより良い生徒の居場所をつくって行くつもりです。

子育てのワンポイントアドバイス その2

■ねえ！聞かせて、パニックのわけを _____
～発達障害の子どものいる教室から～
(明石書店 野口啓示著)

目の前で男の子がパニックを起こした時、パニックを克服した女性の言葉を思い出して深呼吸をして、と彼に声をかけました。すると、彼はその発作を自分で納め、いつもの自分を取り戻しました。彼が自分の発作をコントロールすることができるのだと知った瞬間でした。

パニックは、彼の自己表現のひとつにすぎなかったのです。けれども、小さな子にそれができるわけがありません。そうしたパニックになる子供たちを抱えての、教育現場の先生の声がこの本に記されていました。

○パニックになった子が、クールダウンするために空間を用意する。

(気持ちが落ち着くものが入った宝箱やダンボールの隠れ家、カーテンで仕切った空間)

○水を飲む、深呼吸をする、とかその時の想いを絵や言葉にして表現するようにすると感情が収まる。

○5段階表示されたパニックの状態のカードを通してパニックになった子どもが自分の状態を知ったり、その状態をカードで先生に提示するようなプロセスを経てパニックをコントロールする術を身に付けていく。または先生がレッドガードのような使い方をして子どもにクールダウンするように教室から別の部屋に行くように指示したりする。

発達障害の子供はどこにでもいるご時勢ですが、その子が問題を起こさないように先生が必死なのが現実です。けれどもその担任の先生よりも、小さな頃から関わるクラスメートの中にはその子のありのままの姿を受け入れて寄り添う子もいます。

「パニックになったら、手をひいて連れて行ってあげたらいいんよ」と先生が教えられて、大事なのは発達障害の子たちとどう向き合っただけがクラスを作っていくかだと気づくようになります。

もう1点大事なことが記されていました。親もまた一緒に変わっていかなければならないということです。わが子の発達障害を認めたくない親、わが子とどう向き合ったらよいかかわからない親、そうした親にも子どもの様子を知られて、共に子ども達と向き合うようにしていくと子ども達も大きく変わっていくのです。

今の教育が学校任せで、分離されていることがまた子ども達が育ちにくい背景になのですね。

(子育てアドバイザー 笠松 ゆり)

伸楽ひふみ学園 入試日程

普通科・航空科 共通（1期・2期）

■一般試験1期

<出願期間>

1月18日（金）～2月10日（日）

<試験日>

2月13日（水）

<合格発表>

2月20日（水）

<試験会場>

伸楽ひふみ学園 西金沢学習支援センター

■一般試験2期

<出願期間>

2月15日（金）～3月31日（日）

<試験日>

4月3日（水）

<合格発表>

4月10日（水）

<試験会場>

伸楽ひふみ学園 西金沢学習支援センター

■試験時間（1期・2期共通）

学科：10：00～12：25

（各45分ずつ・途中休憩5分ずつ）

面接：13：00～15：00

（ひとり20分）

■試験科目（1期・2期共通）

国語・数学・英語・面接・書類選考

なんな先生の Mana カードリーディング

☆ 11月 ラマオマオ 「静かに今年を振り返る」

今年もあと2ヶ月となりました。2012年を振り返り自分自身に対しての不安や焦りが明確になってくるかも知れません。（何もしないで1年終わってしまった・成長がなかった・結果をだせなかった・思い通りにならなかった…）

ラマオマオ（風の女神）は、今のありのままの自分を受け入れることが大切だと言っています。

心静かにこの一年を振り返ってみましょう。

☆ 12月 カナロア 「目標をきめる」

カナロアは海と海風の神様です。2013年のあなたの目標は何ですか？と聞いています。

2013年をどんな年にしたいか、どう生きていきたいか、自分自身に問いかけてみましょう。

心に強く決めたことは、必ず実現します。

☆ 1月 マノ（白サンゴ） 「人に添う」

2013年、新たな年の幕開けです。

この年に、地球に住む私達一人ひとりが大切にしなければいけないことは「人に添う」ことであると、マナカードは言っています。

人が自分の欲求を満たすためだけに生きる時代は終わりました。

相手（人・動物・モノ・自然など）を思いやり、その思いに添う時代がやってきたのです。

難しいことはありません。まずはあなたにいつも優しくしてくれたり、あなたをいつも支えてくれる人に、感謝の心を伝えましょう。

そうすることで、2013年は、きっと素晴らしい年になります。

ひ・と・こ・ま 教室風景



10分ヨガでリフレッシュ！

親の会カフェミーティングを行っています

毎月第1土曜日に、発達障がい・学習障がいのご家族を持つ保護者の方と、それをサポートする仲間が気軽に集まって、悩みを語り、新しい情報を共有し、笑い、理解を深めたり友好を深めるのが目的のカフェミーティングです。お茶を囲んで楽しいおしゃべりをしながら、ものづくりなどを体験することもできます。

次回は11月10日（土）の10時からです。ホームページにも予定が出ていますのでご確認ください。

体験入学会 実施予定日

西金沢学習支援センターでは、定期的に体験入学を実施しております。

今後も、下記の日程で実施予定です。

平成24年11月17日（土）13：30～15：00

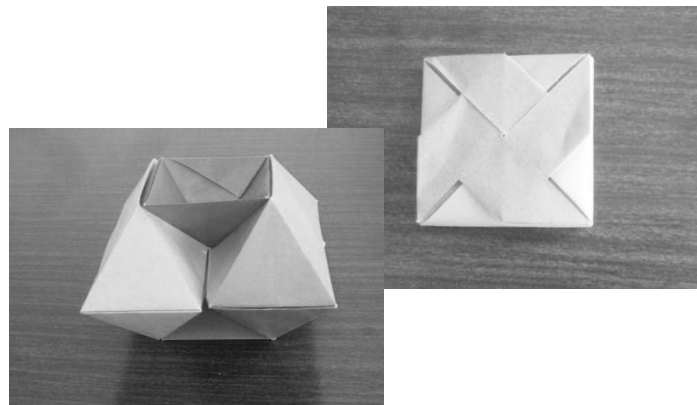
平成24年12月15日（土）13：30～15：00

平成24年1月19日（土）13：30～15：00

体験入学への参加は、事前の申し込みが必要です。

参加費は無料です。

実施場所につきましてはすべて伸楽ひふみ学園で行います。



今日の作品 ～創作折り紙～